

PR版



平成30年度 栃木県公立小中学校事務研究大会

主催 栃木県公立小中学校事務職員研究協議会
期日 平成30年11月30日(金)
時間 受付 9:10～ 開会式 9:30～
会場 宇都宮市文化会館



大会テーマ 「実現しよう！子どもの学びの充実を目指す学校事務を」
サブテーマ 高めよう学校事務！伸ばそう専門性！
地域とともにある学校の協働体制づくり

現在の教育活動は、学習指導要領の改訂とその実現に向けたカリキュラムマネジメントの展開が求められており、単なる教育課程の作成ではなく、学校を核として地域資源の活用や連携、教育行政との連携など「多様性」が重視されています。学校を取り巻く様々な人たちがチームとなり、子どもの学びのプロセスを高め学習効果の向上を図ることが進められています。

このようなことから、大会テーマを「実現しよう！子どもの学びの充実を目指す学校事務を」としました。実現するのは学校現場に勤務する事務職員一人一人であり、その実践を最も近い組織である共同実施がしっかりとサポートしていく必要があります。そして更にその事務職員と共同実施を積極的に支えていくのが組織である栃事研や各支部になります。

学校と地域が手を取り合い、一体となって子どもたちの学びを充実させていくためには、本来あるべき学校と地域の関係性の構築、教育目標や学校経営方針の共有化、地域とのコミュニケーションの充実など、体制づくりに向けた取組は多様にあります。

再度、地域とともにある学校のねらいや趣旨・効果などを学び、学校の果たすべき役割の具体化、地域とともに子どもたちの生きる力を育むために必要な諸条件の整備等について確認したいと思います。その中で事務職員のもつ専門性やこれまで培ってきたマネジメント力、学校事務や共同実施の質の向上に向けた諸活動を総合的に発揮し、実践・行動していくためには「何をどのように進めるのか」を考察するとともに、それが共同実施を含めた学校事務の在り方の新たな可能性につなげていくことを目指したいと思います。



地区発表(河内地区)

「 未来につなぐ人材育成と地域学校園経営を支援する学校事務 」

～ Let's keep the light ! チームで創る宮っ子の未来～

宇都宮市では、平成24年度から導入された「小中一貫教育・地域学校園」制度に伴い、共同事務組織である「地域学校園事務室」が設置されて7年目を迎えました。また、宇都宮市公立小中学校事務職員研究会(宇事研)では、平成27年度に大きく組織体制を改編しました。今回の発表では、「地域学校園事務室」を核とした学校事務に係る取組状況について報告するとともに、私たちが今後進むべき道を探っていきたいと考えます。





全体研究会 I

基調講演 講師 千葉大学 理事・事務局長 松浦 晃幸 氏

内 容

国等の動向を踏まえつつ地域とともにある学校づくりを推進されてきたご経験を基に、その趣旨やねらいについてお話しいただき、学校と地域の関係性の構築に必要な学校の在り方について考えたいと思います。また、大学の取組などからマネジメントの在り方、地域との関係性などについて学び、学校経営への参画の在り方やこれからの学校事務、事務職員の新たな可能性についてご示唆いただきたいと思ひます。

全体研究会 II

シンポジウム 「高めよう学校事務！伸ばそう専門性！
地域とともにある学校の協働体制づくり」

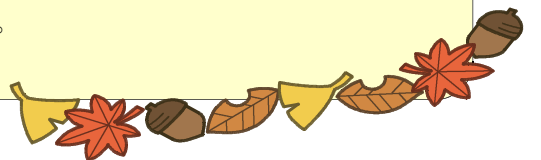
シンポジスト	千葉大学 理事・事務局長	松浦 晃幸 氏
	宇都宮市立清原中央小学校 校長	生田 敦 氏
	宇都宮市立旭中学校 事務長	檜山 幸子 氏
	那須町立学びの森小学校 主任	池田 安孝 氏
コーディネーター	栃木県公立小中学校事務職員研究協議会研究部長	倉澤 由佳

内 容

学校と地域が一体となって子どもの学びを充実させていくためには、学校の協働体制を構築し、機能させていくことが必要です。その活動に私たち事務職員も参画していくことが学校経営への参画の一つとなります。

そのために私たち事務職員は、本来有する専門性やこれまで培ってきた力量を学校現場で確実に発揮していくことが重要となってきます。また、地域との連携を進めるには学校と行政との関わり、特に共同実施の活用なども必須となります。

このシンポジウムをとおして私たち事務職員のこれからのに向けた新たな可能性を確認し、「実践・行動」への指針としていきたいと思ひます。



お願い

駐車場について

宇都宮市文化会館の駐車場のみご利用ください。十分な駐車場がありませんので、できるだけ相乗りまたは、公共交通機関を利用してお越しください。